

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
フランス語Ⅱ FrenchⅡ		1年	後期 1／2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
フランス語Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
加藤 豊子		非常勤講師室	木曜日 13:30～16:30（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
フランス語Ⅱではフランスの生活と文化について学びます。フランスの文化については、日本でも料理やファッションなど広く知れ渡っていることが数多くありますが、それらを総合的、体系的に学ぶのがこの授業です。具体的には、①料理とお菓子、②ファッション、③美術の3つの分野について、それぞれ歴史的なことも踏まえながら知識を深めていきます。この授業はフランス語Ⅰの同時履修が望ましいですが、フランス語が全くわからなくても、フランスの文化に興味関心がある人を歓迎します。				
授業の目標				
①フランス文化について知識を深めることができるようにする。 ②フランス文化に関する学習を通して、国際的なセンスを磨き、将来の専門フィールドに役立つ視野の拡大が図れるようにする。 ③フランス語の表現や単語を適宜覚えて行くようにして、実用的なフランス語力を身に付けることができるようにする。				
授業の方法				
この授業では、各回のテーマに沿った資料をプリントして渡します。基本的にはこの資料を元に説明を行っていきませんが、説明を聴くだけではなく、写真や映像などを利用して視覚からの理解も深めて行くようにします。資料の説明以外に自分の知っていることや疑問に思ったことなどをどんどん発言して下さい。積極的に授業に関わってほしいと思います。				
学習の成果（学習成果）				
この授業を履修すると、 ①フランス文化についての知識を深めることができる。 ②国際的なセンスを磨き、料理・ファッションや芸術などの分野の視野を広げることができる。 ③実用的なフランス語を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	フランス文化全般について（DVDを使って）			
第2回目	フランスの食べ物／パンとチーズ紹介と試食			
第3回目	フランス料理いろいろ／フランスの郷土料理			
第4回目	フランスのお菓子／フランス伝統菓子紹介と試食			
第5回目	メニューの読み方／いろいろな飲み物／フランス料理編まとめ			
第6回目	フランスファッションの歴史ーパリ・コレクションへの道ー①			

第7回目	フランスファッションの歴史ーパリ・コレクションへの道ー②
第8回目	ファッション用語／香水／有名ブランドデザイナー紹介
第9回目	ココ・シャネルコレクション（DVDを使って）
第10回目	フランスファッション編まとめ
第11回目	フランス美術を巡る（歴史・美術館）
第12回目	フランス美術を巡る（画家とその作品についてDVDを使って）
第13回目	フランス美術を巡る（「浮世絵」と「フランス印象派」について）
第14回目	フランス美術編まとめ
第15回目	料理編／ファッション編／美術編レポート発表
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	30% 授業に集中して取り組む姿勢を評価します。特に積極的な発言や質問など授業への積極的参加の態度は高く評価します。
レポート	50% 各分野の中から一つのテーマを決め、まとめのレポートを作成の上発表をしてもらいます。独自の視点があるかどうか、またそれに対してどれくらい深い考察を行っているかによって評価を決めます。
調査報告書	
小テスト	
試験	
発表内容（態度含む）	
その他	20% 出席点を評価します。休まないようにすること。
教科書と参考図書	
毎回プリント資料を配布します。	
履修上の留意点・ルール	
クラス全体で知識を共有し、お互いにセンスを磨いて行く。そういう気持ちで積極的に授業に参加して下さい。	